

〔2〕 罹病スッポンからの細菌分離

目 的

病原細菌の分離と同定

材料及び方法

エサ台にのぼり動きのなくなった罹病と思われるスッポンの肝臓・脾臓及びその他より細菌分離を行った。

分離培地は普通寒天培地と榮研のドリガル改良B T B 寒天培地・DHL 寒天培地・マッコニー寒天培地を用い、25℃48時間培養した。

菌の同定は北里研究所研究部細菌室に依頼した。

結果及び考察

5～10月までに14個体から100余株の菌を得た。同定の結果は表3に示した。

表3 罹病スッポンからの菌の分離

表中の記号は菌の分離場所を示す。Li:肝臓, S:脾臓, B:血液, Lu:肺, G:咽喉

解剖番号	分離菌名	グラム陽性球菌		分離月日	備 考
		<i>Bordetella</i> SP.	<i>Proteus</i> SP.		
6	Li			5/15	外部異状なし。肝臓に胸咽喉の群毛状小突起刺絨
7	S B	Li Li	Li B	6/3	甲羅にムコール様のカビ 肝臓白っぽい、その他以上なし
10	Li S			7/7	外部異状なし。肝臓移植 肝臓表面と腸間膜に菌核物附着
11	Li S			7/22	肺にガス充満、内部に病巣あり 肝臓肥大ナス紺色、脂肪黄色
12	Li			8/13	内・外部異状なし
13	Li			8/13	"
14	Li			8/25	甲羅にムコール様のカビ
15				8/25	"
16				9/29	"
17				9/29	"
18	G			10/25	"

